

## インベントリにおける算定方法の改善について（案） （運輸分科会：運輸分野の CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O ）

### 1. 対応方針の概要

#### 1.1 排出係数・活動量等の設定値を変更した排出源

##### (1) ガソリン車・ディーゼル車の排出係数の見直し（1A3b 自動車）

排出係数としてデフォルト値を採用している車種、あるいは排出係数データの少ない車種であるガソリン軽貨物車（新短期規制）、ガソリン小型貨物車（中量車；新短期規制）、ディーゼル普通貨物車（長期規制、新短期規制）について、（社）日本自動車工業会から CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数データの提供を受け、そのデータを基に車種別 CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数の見直しを行った。

##### (2) 新長期規制を考慮したガソリン車・ディーゼル車の排出係数の見直し（1A3b 自動車）

現状では、自動車排出ガス規制として考慮されているのは新短期規制（平成 12～14 年）までであり、新長期規制（平成 17～19 年）適合車のデータは反映されていない。

ガソリン乗用車、ガソリン小型貨物車（軽量車）、ディーゼル普通貨物車については、（社）日本自動車工業会から新長期規制適合車の CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数データの提供を受け、そのデータを基に CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数の見直しを行った。

##### (3) 二輪車の排出係数の見直し（1A3b 自動車）

二輪車の排出係数データはまだ少なく、また第 2 次排出ガス規制（平成 18 年/平成 19 年）対応の排出係数データがない。

（社）日本自動車工業会から二輪車の第 2 次排出ガス規制に対応した CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数データの提供を受け、そのデータを基に CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数の見直しを行った。

## 2. 改訂後のインベントリ概要

1. に示した算定方法等の改善案を踏まえると、次回提出するインベントリは表 1のように報告することとなる。

新長期規制車の排出係数データを加えたことにより、2006年度のガソリン自動車からの排出量が減少した。

表 1 運輸分野の報告案 (2006年度)

排出区分	計上すべきGHGs(単位:千t-CO <sub>2</sub> )		
	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	合計
1A3.移動発生源	234→223	3003→2977	3238→3200
a.航空機	5.0	111.9	117.0
ジェット燃料	4.7	111.9	116.5
航空ガソリン	0.34	0.07	0.41
b.自動車	203→192	2702→2675	2905→2867
ガソリン	149→140	1966→1919	2114→2060
自動車	131→123	1956→1912	2087→2035
二輪車	18→17	9→7	27→25
軽油	46→43	686→707	732→750
LPG	3→3	48→47	51→50
天然ガス	5	3	8
バイオマス燃料	NO	NO	NO
c.鉄道	0.8	82.8	83.6
軽油	0.7	82.7	83.4
石炭	0.06	0.13	0.20
d.船舶	25.6	106.9	132.5
軽油	1.0	4.4	5.4
A重油	6.8	28.6	35.4
B重油	0.3	1.4	1.7
C重油	17.4	72.5	89.9

注1) NO (Not Occurring) : 活動なし

注2) 地球温暖化係数は以下のとおり CO<sub>2</sub>:1、CH<sub>4</sub>:21、N<sub>2</sub>O:310

報告内容を変更する排出源

排出係数の変更等を行ったことにより、改訂前後の排出量の変化は表 2 のように試算された。2006 年度に排出量は約 3.7 万 t-CO<sub>2</sub> 減少し、基準年比は 28.1% 減から 28.9% 減となった。

表 2 改訂前後の排出量の変化

(単位: 千t-CO<sub>2</sub>)

	排出源	基準年	1990年度		2006年度	
			改訂前	改訂後	改訂前	改訂後
CH <sub>4</sub>	航空機	2.9	2.9	2.9	5.0	5.0
	自動車	265.7	265.7	265.7	202.9	191.8
	鉄道	1.2	1.2	1.2	0.8	0.8
	船舶	26.3	26.3	26.3	25.6	25.6
	合計	296.2	296.2	296.2	234.3	223.2
N <sub>2</sub> O	航空機	69.8	69.8	69.8	111.9	111.9
	自動車	3901.7	3901.7	3901.7	2701.7	2675.4
	鉄道	121.4	121.4	121.4	82.8	82.8
	船舶	111.3	111.3	111.3	106.9	106.9
	合計	4204.2	4204.2	4204.2	3003.3	2977.1
合 計		4500.3	4500.3	4500.3	3237.7	3200.2

2006年度(基準年比)	
改訂前	改訂後
-28.1%	-28.9%

### 3. 主な継続検討課題

#### (1) 新長期規制を考慮したガソリン車・ディーゼル車の排出係数の見直し (1A3b 自動車)

今回の見直しでは、新長期規制適合ガソリン乗用車や新長期規制適合ディーゼル普通貨物車の排出係数データは各 1 台分しか入手できなかった。排出係数データのさらなる調査収集が必要である。

また、新長期規制適合のディーゼル普通貨物車重量車として尿素 SCR 車が今後増加するものと考えられるが、N<sub>2</sub>O 排出係数が大きいことから、今後、排出係数データの蓄積が必要である。

#### (2) 二輪車の排出係数の見直し (1A3b 自動車)

今後、第 2 次排出ガス規制対応車の保有台数比率が増加するため、その CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出係数データを調査収集する必要がある。